



シリーズ 美食と美女と芸術と

花の都 フィレンツェ 美しきを愛でるために

金山弘昌 慶應義塾大学教授 イタリア美術史 責任編集

本体価格 1600円

A5版 並製 144ページ 総カラー ISBN 978-4-7566-2071-2 C0026

イタリア美術史の紹介で定評のあるありな書房の新企画は、いままでの旅行ガイドとは一線を画し、専門家たちの目を通してイタリアの都市の魅力に迫る新たな案内記の試みである。ここでの主人公はフィレンツェ、いわずと知れた美術の都である。三人の執筆者はみな美術史の専門家であり、それぞれが現役の美術館学芸員、フィレンツェ在住のツーリスト・ガイド、大学教員として、それぞれこの町に住み、仕事をしてきた経験をもっている。執筆者たちが自らのフィレンツェ経験を語るエッセイを通して、過去の記念碑ではなく、現に活動するこの町でくりひろげられる生活の諸相、とりわけ美や感性と結びついた街の感性が浮かびあがってくる。もちろん、いささか主観的な、あくまで個人の経験というフィルター越しではあるが、これから旅をする読者に、あるいはすでにこの町を旅した読者に、この魅力あふれる、しかしちょっと気むずかしい一面も併せもつ都市の活き活きとした「肖像画」が示される。もしあなたが、ウフィツィ美術館の裏側を知りたいのなら、グッチやフェッラガモが育った環境で活躍する女性の姿を見たいのなら、ありきたりのグルメ・ガイドには食傷気味というのなら、そしてフィレンツェ特有の美と感性のあり方に思いをめぐらせたいのなら、この本こそがその期待に応えるはずである。

【目次】

- フィレンツェは花の香が……
- フィレンツェ食べ歩き 金山弘昌
 - お節介な前口上
 - フィレンツェ食べ歩き チェントロ篇
 - フィレンツェ食べ歩き 番外篇 オルトラルノ逍遙
- イヴォンとフィレンツェの風景 和田咲子
- 展覧会を準備してイタリアの猫を知る 渡辺晋輔
 - 私のフィレンツェ滞在と仕事の顛末記
- 美酒礼讃 フィレンツェで美味しいワインを…… 金山弘昌
- 「美しき」を愛でる人に フィレンツェの街で



フィレンツェはウフィツィ美術館の至宝、フィリッポ・リッピが描いた《聖母子と二人の天使》は、リッピが女子修道院から誘拐して結婚したフィレンツェ美人ルクレツィアをモデルにしている。幼子イエスは二人の息子フィリッピーノ。



●受注 FAX 03-3815-4614

●取引取次 トーハン 日本出版販売 楽天ブックス（大阪屋） 八木書店

●いただいたご希望部数は、委託配本の部数となります。

貴店印	ご希望数	シリーズ 美食と美女と芸術と 花の都 フィレンツェ 美しきを愛でるために 金山弘昌 慶應義塾大学教授 イタリア美術史 責任編集 本体価格 1600円 A5版 並製 144ページ 総カラー ISBN 978-4-7566-2071-2 C0026
	部	

●貴店様 住所・電話 FAX 番号
 ご担当者
 コメント など